

This is a newsletter from Shinshu University International Center (SUIC).
In case this email newsletter is unreadable, please try the online version
http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/upload/pdf/publications/suicnewsletter_vol.46.pdf

◆◆◆◆◆ Vol. 46 2013. 12. 26 ◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆
信州大学国際交流センター ニュースレター
Shinshu University International Center (SUIC) Newsletter

◆◆◆◆◆ ◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆ ◆◆◆◆◆
発行：信州大学国際交流センター(SUIC)
<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/>

[今号の目次]

- * ごあいさつ
- * 最近の出来事
- * 信大NOW No. 84
- * スタッフ近況報告 天野 弥生 先生 (非常勤講師)
- * 生活ちょっとコラム

■ □
□ ごあいさつ

みなさんこんにちは！

寒くてつい背中も丸くなってしまう今日このごろです。自転車通勤をしている私の冬の通勤スタイルといえば、黒のロングコートにオーバーズボン、マフラー、手袋、耳あて、マスクと、怪しい人と思われるもしかたのないような格好です。

ところが、朝夕みかける若い女子中学生、高校生のみなさんは制服のスカートの下は生足！（なまあし＝素足のことです）学校でタイツを履いてはいけないという規則はないだろうに、防寒よりファッション重視なんですか？ みなさん、特に女性のみなさんは、あまり体を冷やさないように、気をつけてくださいね！

さあ、今日も寒さを吹き飛ばすような元気なニュースをお届けします！

■ □
□ 最近の出来事

★チェコ大使が信州大学繊維学部を表敬訪問されました

チェコのカテリーナ・フィアルコヴァー駐日大使が11月6日、信州大学繊維学部（長野県上田市）を表敬訪問しました。

繊維学部は平成23年に、チェコ北部のリベレツ市にあるリベレツ工科大学と学術交流協定を結んでいます。チェコ大使館は、リベレツ市と上田市の姉妹都市締結を希望しており、この日、大使が市幹部と意見交換のため同市を訪れたのを機に、先んじてチェコの大学との交流を進めている繊維学部訪問が実現しました。

詳細はこちら

↓ ↓ ↓
<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/news/2013/12/56057.html>

★NRI学生小論文コンテスト留学生の部で信州大学の交換留学生が入賞しました

野村総合研究所によるNRI学生小論文コンテストで、信州大学交換留学生（2012年10月～2013年9月）の蘇丹さん（中国 山東大学）の「団結を強めるリラックスした日本へ」が留学生の部の佳作に選ばれました。

NRI学生小論文コンテストは、日本と世界の未来について、次代を担う若い学生の皆さんに考える機会を持ってもらうための論文コンテストです。第8回となる今回は、「あなたが考える“わくわく社会”を描いてください」を共通テーマとしてコンテストを開催し、全国から過去最多となる1,518本の論文が寄せられました。

予備審査と一次審査を経たあと、11月21日、ジャーナリストで信州大学特任教授の池上彰先生ら10名の審査員による最終審査で、各部門の入賞論文が決定されました。

詳しくはこちら

↓ ↓ ↓
<http://www.nri.com/jp/event/contest/index.html>

★日本語・日本学短期留学生在が青木村に研修旅行に行きました！

11月23～24日、国際交流センターの日本語・日本学短期留学生プログラムで学ぶオランダ（ゾイド大学）、中国（北京工業大学）、韓国（光云大学・崇實大学・建国大学）出身の留学生達14人が、長野県小県郡の青木村に一泊二日の研修旅行に行きました。

一行はまず松本市内の重要文化財 馬場家（江戸時代の豪農の屋敷）と日本浮世絵博物館を見学し、青木村に移動しました。青木村では「義民太鼓」の演奏で小学生と交流したり、小グループに分かれて村内の一般家庭を訪問し、農作業や伝統的な家庭料理づくりを体験しました。大都市でなく、日本の豊かな自然や昔ながらの生活が色濃く残る信州を選んでくれた留学生にとって、大変貴重な体験となりました。

詳しくはこちら

↓ ↓ ↓
<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/current/events/-in.html>

★「中国留学のすすめ～蘭州大学～」を開催しました

国際交流センターでは、信州大学の学生に対し、「もっと世界を見てもらおう！」「異文化を理解しよう！」「海外に留学してみよう！」という目的で、「〇〇留学のすすめ」シリーズを企画・開催しています。

今回は12月6日、本シリーズの第6弾として、中国の蘭州大学（大学間協定校）について紹介しました。人文学部1年生（長谷川 稔さん）による短期留学体験談や、蘭州大学からの交換留学生（万 暁篠さん・林 琦さん）による蘭州地方や蘭州大学の紹介がありました。

三人はそれぞれ、写真や音楽を使って印象的な発表を行ってくれました。会場には中国語を勉強している学生や、中国に行ってみようという学生が参加し、留学生活について具体的なお話を熱心に聴いていました。

詳しくはこちら

↓ ↓ ↓
<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/study-abroad/o-event/post-227.html>

★松本ワイズメンズクラブによる留学生作文コンテスト「アジア賞」にて信州大学留学生の劉暢さんが最優秀賞に選ばれました。

ワイズメンズクラブ松本主催「アジア賞」は、アジア出身の私費外国人留学生を対象に、毎年行われている日本語作文コンテストです。

第15回となる今回は、信州大学全学教育機構所属の中国人留学生、劉暢さんの「私の出会った人々ー加藤先生」が最優秀賞に選ばれました。

また、同じく信州大学交換留学生の劉莉さん（中国 山東大学）の「人生の豊かさとは？私はこう考える」と、経済学部2年のチンバト ムンゲンザヤさん（モンゴル）の「日本留学によって切り開く私の人生」が優秀賞に選ばれ、他にも、信州大学の留学生が多数入選しました。

12月14日の授賞式は、今回応募した留学生全員が招待され、松本市深志神社の「梅風閣」にて華やかに行われました。

詳しくはこちら（受賞作文も、後日掲載される予定ですのでぜひお読みください！）

↓ ↓ ↓
<http://www.alpscacity.com/ys/>

■ □
□ 信大NOW No. 84のご案内

信州大学のニュース、歴史や人にまつわる記事、イベントや公開講座の紹介、研究者の研究内容など、信州大学が良くわかる広報誌「信大NOW」最新号の目次を紹介します。

<No. 84>

- 超小型衛星ShindaiSat、愛称「ぎんれい」
名付け親の皆さんと完成を祝う。
2013. 11. 3完成記念セレモニー開催
- 文部科学省「革新的イノベーション創出プログラム」中核拠点採択
世界の豊かな生活環境と地球規模の持続可能性に貢献する
アクア・イノベーション拠点
- 信州大学RISTEX研究プロジェクト
社会技術イノベーション政策のための科学研究開発プログラム
栄村秋山郷で小水力発電システム稼働
水資源の保全・活用に新たな一歩
- 信州発！新しいモノサシ第4回（最終回）
広がる繊維・ファイバー工学の産学連携
—オンリーワン学部に高まる産業界の期待—
- 自分の体の一部のように人の動きをサポート
生活動作支援ロボティックウェア「CURARA」
第40回国際福祉機器展で注目集める。
- 農林業・食品業の産学官連携、伊那谷アグリイノベーション推進機構
設立記念式典を盛大に開催！
- 地域戦略センター開設
- TOPICS
繊維学部「ハナサカ軍手プロジェクト」のオリジナル軍手イ
カリフォルニア州立大学チコ校との協定
おひさま保育園開園式
- 信大キャンパスの「樹」シリーズ⑮
カシワ 長野（教育）キャンパス

全文は信州大学の公式Webサイト上でデジタルパンフレットとして公開
されていますので、ぜひご覧ください。↓ ↓ ↓
<http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/publication/#publication>



□ スタッフ近況報告 天野 弥生 先生（非常勤講師）

皆さん、こんにちは。信州は寒くなりました。留学生たちからは、
「まだまだ大丈夫。私の国は、もっともっと寒いよ。」
なんて元気な声も聞かれますが、
「寒いよー。部屋の中でも凍っちゃうよ。」
なんて泣きそうな声も聞こえてきます。

皆さんは、お正月をどう過ごす予定ですか。普段は離れている家族とおせち
料理を食べ、今年はどうな年になるのかな、何をしようかななど思いを巡ら
すのも、私にとっては楽しいひと時です。

また、年賀状で友人や知人の近況を知るのも楽しみの一つです。でも、来年
は年賀状が、我が家には届きません。今年、父が亡くなり新年のご挨拶である
「おめでとう」を控えているからです。それは、ちょっと寂しいのですが、そ
のかわり友人たちから、励ましの葉書やメール、なぐさめの白いシクラメンの
花、手作りのジャムなどいろいろなものが届き私を元気にしてくれています。

友達っていいですね。何年也会っていないくても、遠く離れていても、懐かし
くて優しく心がほっこり温まります。

友達は財産です。皆さんも、素敵な友情が続きますように。
そして、来年も、幸多き良い年になりますように。

天野 弥生



□ 生活ちょっとコラム ～日本の英語教育～

みなさんの国では、小学生も外国語を勉強しますか？

